

受付番号

202402

許可番号

大歯医倫 第 111337 号

研究課題名

第 2 子を迎える家族への出産準備教育が産後 1 か月の母親の親としての効力感に与える影響

研究責任者

遠藤 誠之

申請者

谷郷 智美

研究終了日

2025 年 12 月 31 日

所属

大阪大学大学院医学系研究科

所属

看護学部

母性看護学領域

職名

教授

職名

講師

申請の概要

本研究の目的は、第 2 子を迎える家族に対する出産準備教育が産後 1 か月時の母親の親としての効力感に与える影響を調査することである。方法は①産後 1 か月の褥婦 120 名程度を対象に質問紙調査を行い、親としての効力感尺度の一般化可能性を検討する。②第 2 子妊娠 26～35 週の妊婦 20 名を対象に、妊娠 32～36 週ごろに出産準備教育を実施する。出産準備教育には第 1 子とともに参加する。産後 1 か月時に母親に質問紙調査、インタビュー調査を実施し、親としての効力感に与える影響を確認する。第 2 子を迎える家族に対する出産準備教育の親としての効力感に与える影響が明らかになれば、第 2 子を出産する母親特有の困難や課題に対する有効な支援が実施できるようになるところに意義がある。

聖バルナバ病院で研究参加者のリクルートと出産準備教育を実施する。データ解析や研究成果の発表は大阪大学と大阪歯科大学で実施する。